



北広島町 定住者の声

▲すでに15年以上共にトマトをつくっている、なんとも自然体で仲良しのお二人。トマトハウスの前で。

移住までの経緯やきっかけは？

県内の農業高校を卒業後、農大で2年間研修を受けました。最初は、海方面にするか山方面にするかで悩みましたが、父の知人の紹介でこの北広島の芸北地域に農地を構えることができました。当時20歳でしたから、農業計画や資金面などよくわからない状態。また、新規就農の先駆けということもあって、県や町のきめ細やかで手厚いサポートを受けながらやってきました。

良かったこと・苦労したことは？

農大時代からお付き合いしていた亜季さんに、「芸北でトマト作るから。」と良平さん。「ああ、そう。わかった。」と亜季さん。そんな感じで始まったトマト農家としての結婚生活ですが、ほとんどが二人での作業のためお子さんが生まれて間もなくの頃はやはり大変だったそうです。

「今は子供たちも大きくなり、学校が休みの日には作業を手伝ってくれるので助かります。農繁期は忙しいですが自由に自分たちのペースでやれるのがいい。勤めに出てるととてもこうはいかないですからね。」



▲『トマトベリー』という品種のトマトを収穫中の亜季さん

🐱 北広島町の魅力は？

農大を卒業し、ずっとここに住んでいますからね。自分たちの中では当たり前になっていますが、自然の中で四季を感じながら生活できる場所ですね。秋は、ハウスの目の前に広がる紅葉が美しいんです。

🐱 住んでいて困ったことは？

雪が多いことですかね、さすがに慣れましたけど。まあ近くにスキー場があるくらいなので当然ですが。うちのハウスは耐雪設計になってますが、それでも雪の重さで曲がったこともありますからね。

🐱 ご近所とのおつきあいは？

地元の神楽団や地域、子供の学校の役員など、いろいろお付き合いももれなく付いてきますよ。皆さんがイメージされる田舎でのスローライフとは真逆のハードライフですね。笑



▲近くの『選果場』で次々と箱詰めされる芸北高原トマト



▲『まだまだやりたいことがたくさんあるんです』と良平さん

🐱 移住を検討している方へのメッセージ

私たちは、春から秋にかけてはトマト栽培で忙しいですが、冬季は二人ともそれぞれ近くのスキー場で働いています。雪の多いこの地ならではのですね。季節限定の仕事は多いです。ウィンタースポーツが趣味の人にはうってつけの場所だと思います。冬が寒いぶん、夏は涼しくて快適。何か目的ややりたいことがあれば田舎暮らしはいいですよ。もっとたくさんの方が田舎に興味を持ってきてそれが移住につながれば本当にうれしいですね。



▲この日は地元のトマト農家さんが集まってトマトの品質チェック

松尾 良平(まつお りょうへい) さん 30代
亜季(あき)さん 30代
春渡(はると)くん 10代
純青(じゅんせい)くん 10代

仕事:トマト農家
移住前:広島市
現住所:北広島町荒神原
移住年月:平成12年4月

